

## 長泉さわやかハイク山行報告書

通算山行 NO	NO. 89	報告者	天野和子
年 月 日	2010年09月12日 (日・晴)	2万5千	御正体山・中
山 名	丹沢・菰釣山 (1348m)		川
体力度=3・普通 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=500円 トイレ=ある 展望度=よい 三角点名=世附村 等級=三等 温泉=道志の湯・500円			
<h1>初秋の山を楽しむ</h1>			
コース とタイム	下土狩6:00-道志の森キャンプ場発7:30-城ヶ尾峠8:48-避難小屋-菰釣山10:55~12:00-新道-キャンプ場13:25-道志の湯14:00~15:30-下土狩17:00		
標 高 差	上り 道志キャンプ場約750m~菰釣山1348m=約600m 下り "		
参 加 者	L 後藤、堀江、河合、天野、小松真、小松京、大庭、津田、野村、田島、伊藤、藤従、峰田、鈴木恵、増田真=14名		



残暑が続き、やっとこのところ朝夕少しは、涼しさを感じるこの日、車三台で六時出発です。車窓からは、富士山も全体がくっきり。

道志みちを道なりに進み、道志の森キャンプ場に到着。駐車場で講師が、釣船草を見つけ教えてくれた。可憐な花である。キャンプ場は、カラフルなテントが所狭しに張られていて、朝食の準備中だった。7:30 出発・・

スタート時は何ともなかったが、歩くともう汗ばんできた。しかも蒸して暑い。予報では曇りだが・・・。今年の紅葉はどうかしらと、話ながら前進。熊出没注意の看板があり、城ヶ尾峠の登山口の標識を発見。が、見えにくい。峠に到着。8:48 講師から手作りのムラサキイモの差し入れで一息 御馳走さま。ここで、ブナの木の説明。ノドを潤すと元気がでる。途中、中の丸を通り、避難小屋でも休憩。とにかく暑い。木陰にいと涼しさを感じた。また、休憩する場所には必ずテーブルがあり登山者には何かと便利だと思った。あと頂上まで800m。笹の中を通りながら進み、やっと11時前到着。山頂からは、少し雲のかかった富士山をはじめ、山々の雄大な展望が良かった。しかし、雲のかたちに秋の気配も感じた。ここで昼食。日陰の場所にシートを敷く。ところが、その場所は別ルートからの登山者の道を。塞いでいて、丁寧にお詫びをした。下山準備中、四名のグループが到着。カンダさんと言う方が、講師の名を聞いて話かけてきた。聞けば、カンダさんの仲間に講師の知り合いがいるようでした。頂上での出会い・・・。これも縁ですね。

12時出発。下山は途中まで登路を歩き、避難小屋を通り過ぎてから、道の駅の看板の方向へと進んだ。下りは枯れ沢で、ガレキの道となり足をとられ、注意しながら歩きとなった。しばらくすると、水音が聞こえてきた。12:40 休憩。沢に手を入れると、「ウワー・冷いー!! 気持ちいい!!」の声。濡らしたタオルを首にあ

てると、何とも言えない気持ちよさが、一服の清涼剤となりました。けれども4日前の台風の影響からか、倒木や流木で被害の大きさを感じた。せせらぎの音を聞きながら、無事キャンプ場駐車場に到着。13:25. 途中、道志の湯に入浴し一日の疲れをとりました。

\*山歩きが浅い私は、<菰釣山>読めませんでした。<こもつるしやま>・・・忘れないでしょう。



富士山



新道を下山



避難小屋

菰釣山頂上

